

性行為感染症及びHIV/AIDSに関する中国福建省福州市の臨床医を対象にしたK A P研究

蔡国喜 金田 英子 嶋田 雅暁 門司 和彦
長崎大学 熱帯医学研究所 熱帯感染症研究センター

【背景と目的】

中国衛生部と国連エイズ連合（UNAIDS）の報告によると、HIV罹患者全体における性行為感染の割合は1997年の5.5%から2002年には10.9%に増加した。中国福建省CDCの報告では、中国全土のHIV罹患者のうち7割が麻薬常用者であるのに対し、福建省のHIV罹患者の8割は性行為感染とされている。そこで今回、福建省福州市において、各医療機関に勤務する臨床医を対象に、性行為感染症（STI）及びHIV/AIDSの診療状況、治療への取組み、およびHIV/AIDSについての知識と対応について調査・検討した。

【対象と方法】

2004年5月から7月にかけて、福建省の省（医師数71）、市（124）、県（82）、郷（98）、個人（86）の各医療機関に勤務する臨床医（計461人）を対象に、質問表による調査を実施した。調査内容は、1）STIの診療状況、2）HIV/AIDSの診療状況、3）HIV/AIDS患者に対する対応、4）HIV/AIDSに関する基本知識（伝播経路等）、5）HIV/AIDSに関する医療知識等であった。

【結果と考察】

1）過去1年間でSTI患者を扱った医師数は348人で、扱ったSTIで最も多かったのは淋病（36%）、次いで尖圭コンジローム（21%）、梅毒（17%）と続いた。2）HIV/AIDSの診断を行った医師は省（2人）と市（14人）レベルにのみ所属していた。STIまたはHIV/AIDSと診断された患者の年齢層は、30 - 44歳が最も多く（62%）、次いで15 - 29歳であった（28%）。職業別には、コマーシャル・セックス・ワーカー（24%）、小売商（21%）、サービス業（17%）が過半数を占めていた。これまでにHIV/AIDS患者の治療を行った医師は46人（10%）で、うち31人が市レベルの所属であった。HIV/AIDS検査が可能な医療機関に所属している医師は454人中217人（48%）で、そのうち、52%が市、23%が県、21%が省と、市以上が95%を占めていた。また、HIV/AIDSのカウンセリングに対応できると回答した医師は327人（71%）であった。3）HIV/AIDS患者が仕事・勉学を続けることに対し賛成と答えた医師は45%、隔離した方がよいと答えた医師は31%であった。HIV/AIDS患者の治療にあたっては、前向きに取り組もうとする医師は41%であった。医療行為におけるHIV/AIDS感染予防方法の知識について、熟知していると自己判断している医師は20%で、72%の医師は不十分であると認識していた。

Knowledge, attitude and practice toward sexually transmitted infections (STIs) and human immunodeficiency virus (HIV) infection among physicians in Fuzhou city, Fujian, China

GUOXI CAI

Research Center for Tropical Infectious Diseases, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Nagasaki, Japan

